

事業名：私立幼稚園補助金（連合会補助金）

子育て支援室参事（子育て支援政策）

| | | | | | | | | | |
|------|----------------------|------|---|--------------|-----|------|------|-----|--------|
| 政策 | 03 安心を感じる保健・医療・福祉の充実 | | | | | | | | |
| 施策 | 03 子育て環境の充実 | | | | | | | | |
| 基本事業 | 02 未就学期児童への支援 | | | | | | | | |
| 開始年度 | — | 終了年度 | — | 実施計画 事業認定 | 非対象 | 会計区分 | 一般会計 | 補助金 | 団体運営補助 |

事務事業の目的と成果

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

私立幼稚園連合会

手段（事務事業の内容、やり方）

「江別市私立幼稚園補助金交付規則」に基づき、研修、広報等、連合会活動のための補助金を交付する。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

研修事業を支援することにより、幼稚園教職員の資質向上を図るほか、広報活動を支援することにより、市民や保護者が各園の特色について理解を深めることにつながる。

指標・事業費の推移

| 区分 | | 単位 | 23年度実績 | 24年度実績 | 25年度実績 | 26年度当初 |
|-----------|--------------|----|--------|--------|---------|--------|
| 対象指標1 | 加盟幼稚園数 | 園 | 13 | 13 | 13 | 13 |
| 対象指標2 | 加盟幼稚園の教職員数 | 人 | 158.5 | 162 | 170.5 | 170 |
| 活動指標1 | 補助金額 | 千円 | 500 | 500 | 500 | 500 |
| 活動指標2 | | | | | | |
| 成果指標1 | 研修会参加人数 | 人 | 110 | 120 | 110 | 120 |
| 成果指標2 | 配布したパンフレットの数 | 部 | 94,108 | 94,903 | 100,000 | 95,000 |
| 事業費(A) | | 千円 | 500 | 500 | 500 | 500 |
| 正職員人件費(B) | | 千円 | 1,204 | 1,202 | 1,172 | 1,174 |
| 総事業費(A+B) | | 千円 | 1,704 | 1,702 | 1,672 | 1,674 |

| | 事業内容（主なもの） | 費用内訳（主なもの） |
|------|-----------------------------------|--|
| 25年度 | 研修事業及び広報活動、PTA連合会活動事業に対して、補助金を支出。 | <ul style="list-style-type: none"> 研修事業及び広報活動への補助金 400千円 PTA連合会活動事業への補助金 100千円 |

| |
|-------------------------------------|
| 事業を取り巻く環境変化 |
| 事業開始背景 |
| |
| 事業を取り巻く環境変化 |
| 年々、幼児数が減少している中、平成22年度以降は園児数は増加している。 |

| | |
|--|----------|
| 平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点） | |
| (1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？ | |
| 妥当である 妥当性が低い | 理由 根拠 |
| 各幼稚園が共同で研修会や情報交換の場を設定することは、単独で実施するより効率的かつ効果的であり、全体の活動を支援することは、行政の役割として妥当である。 | |
| (2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？ | |
| 貢献度大きい 貢献度ふつう 貢献度小さい 基礎的事務事業 | 理由 根拠 |
| 市全体の幼稚園のレベルアップは、幼児教育全体の向上となる。 | |
| (3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？ | |
| 上がっている どちらかといえば上がっている 上がらない | 理由 根拠 |
| 研修事業等を支援することにより、幼稚園教職員の資質向上につながっている。 | |
| (4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？ | |
| 成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小・なし | 理由 根拠 |
| 幼稚園、保育園、学校、市などで幼児教育推進協議会を設置し、機関連携など側面からのバックアップも行っている。 | |
| (5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありますか？ | |
| ある なし | 理由 根拠 |
| 当該事務事業にかかる所要時間は少ない。各園に対する補助を増額要求されている中、全体組織である連合会への補助削減は難しい。 | |